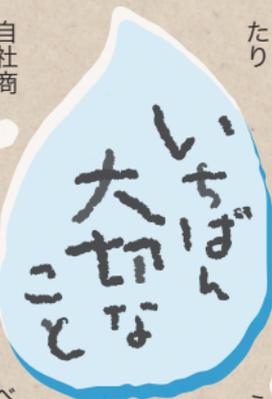




身内の話で恐縮です。
もうずいぶん昔に聞いた話を、
なぜだかふっと思い出しました。
こうして今生きていること、
近くに遠くにありがとう。



自社商
品を作ったりして、商売
は順調だったようでした
が、ある時、倒産の危機
に直面したことがあった
そうです。
当時はどこも大変だった
のでしよう。小さい商い
ながらも入るはずだった
売上げの入金が滞り、支



昔、母から聞いた話です。
わたしの実家は泉州でハ
ンカチの製造業を営んで
おります。サラリーマン
だった父が独立して、捺
染工場から起業したのだ
と記憶しています。大阪
市内にも同業の取引先仲
間があり、商品を仕入れ
たり

べていける。」そう
言って覚悟を決めたのだ
と言います。するとある
日、同業の仲間が訪ねて
きました。皆で父を助け
ようと、お金を出し合い
持って来てくださったの
です。「これで事業を立
て直してくれ」「○○さ
んやから貸すんや」と。

払いがでず、相手先は
夜逃げ同然に姿を眩ませ
てしまったようでした。
父も諦めるわけにはいき
ません。必死で探し回り、
ようやく見つけた相手は
六畳一間のみすぼらしい
アパートで、夫婦揃って
畳に額をこすりつけたそ
うです。父はそれを
見て何も言えずに
帰って来てしまっ
たのでした。母は
「お父さん、また
二人で頑張ろう、
どうやってでも食

その時の父の気持ちは計
り知れません。おかげで
うちは倒産を免れ、父も
母も必死で働いたそうで
す。子供だったわたしは
そんなことも知らず暮ら
していたのです。
十数年後、祖母のお通夜
にわざわざ遠方から訪ね
てくださった仲間と肩を
組み、「この人はお父さん
の大親友や!」と嬉しそ
うに笑っていた父の姿を
今でも覚えています。
仲間は財産です。
父は商売を通して、お金
以上のかけがえのないも
のを得たのだと思います。
父の築いた人間関係、母
の覚悟、そして父を救っ
てくださった方々のこと
を、今、日本が大変な状
況の中で思い返し、改め
て感謝の気持ちと大切な
ことを心に刻んだ一日で
した。

デザインと
イラストと
きかく

小路好美

制作ルーム / 大阪府南河内郡河南町 148-2

www.d-i-p-shouji.com

mail@d-i-p-shouji.com

